

—— 没後 10 周年 ——

和田賢一 遺作展Ⅳ

【会 期】2018 年 11 月 20 日 (火)~12 月 9 日 (日)

【時 間】11:00~17:00

【休廊日】11 月 26 日 (月)、30 日 (金)、12 月 1 日 (土)、2 日 (日)、3 日 (月)

【場 所】〒135-0042 東京都江東区木場 3-18-17 1F EARTH+GALLERY

【入 場】無料

11 月 23 日 (金・祝) 15 時よりオープニングレセプションを開催いたします



「ATOM 04-70 V.G.P」 アクリル、キャンバス、木枠 145.5×112cm (F80) 2004

このたび、EARTH+GALLERY (アースプラスギャラリー) では、M 画廊 (栃木県足利市) にご協力いただき、共同企画として、「没後 10 周年 和田賢一 遺作展Ⅳ」を開催する運びとなりました。

生前、現代画家として国内外で活躍していた和田賢一氏は、1956 年被爆二世として広島に生まれました。1980 年東京芸術大学美術学部芸術学科卒業後、イタリアへ留学。古典絵画技法、修復技法を修得し、帰国後は修復を生業としながら生涯のテーマとなる“光”の表現を追求します。

氏の光の表現は、「色彩を光として用いることで絵画の平面性を打ち破ろうとした絵画」(和田賢一作品集)であると同時に、1945 年当時 14 歳であった氏の母親が見たであろう原爆の閃光なのです。絵筆を用いず、スプレーガンやたらしこみ技法によって制作されたそれらの“光”は、ある時は蛍光色やメタリックな色彩に画面が発光するような狂気的な光を放ち観るものを圧倒する神々しさを表出させ、またある時は、灰暗い闇の中で静かに漂う魂のともし火のように表現されます。

本展では、氏が遺した“光”をテーマに、200 号を超える作品とともに、未発表を含む 25 点を展示販売いたします。

10 年前の 2008 年、享年 51 歳という若さで突如としてこの世を去ってしまった氏が表現した“光”をこの機会に是非ご高覧いただきますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

「ただ、広島の前爆投下時に、B-29 から撮影されたきのこ雲の映像を見る度、その真下に母がいたこと、そして、今それを見ている自分がいることが非常に不思議な気がします。私が出来ることが、この奇妙な感覚を絵画化することではないかと考えます。原爆の閃光を体験した母の記憶は、私にも遺伝子を通じて受け継がれているのです。」

和田賢一作品集 (2009 年発行) より

和田賢一 KENICHI WADA

1956年 広島に生まれる
 1980年 東京芸術大学美術学部芸術学科卒業
 1981-83年 ローター財団奨学生としてイタリアに留学
 2007年 平成19年度「文化庁新進芸術家海外留学制度」
 芸術家在外研修員としてイタリアに80日間派遣
 2月17日逝去(享年51歳)

個展 (2000年以降)

- 1984年 ギャラリーオダ(広島)
- 1985年 ギャラリーK(東京)
- 1987年 秋山画廊(東京)
- 1989年 秋山画廊(東京)
- 1990年 秋山画廊(東京)
- 1994年 アトリエ青箱(広島)
- ギンザ ギャラリーハウス(東京)
- 1995年 文房堂ギャラリー(東京)
- 1997年 スカイドアートプレイス青山(東京)
- 1998年 モリスギャラリー(東京)
- レストラン胡椒亭(東京)
- 川越画廊(埼玉)
- 2000年 モリスギャラリー(東京)
- 2001年 セゾンアートプログラム・ギャラリー(東京)
- 2003年 いづみや(広島)
- 2004年 アートギャラリーこはく(埼玉)
- exhibit LIVE [laiv](東京)
- 2005年 川越画廊(埼玉)
- いづみや(広島)
- Gallery 718(広島)
- 2006年 SAN-AI GALLERY(東京)
- 2009年 府中市美術館市民ギャラリー(東京)
- 2010年 「和田賢一小品展」SIN DEN HAIR&MAKEUP(東京)
- 2011年 「和田賢一展」GALLERY CELLAR(東京)
- (Roberto Perozzi Hair Design Studio(東京))
- 2012年 「和田賢一展」ギャラリー川船(東京)
- 2015年 「和田賢一遺作展Ⅰ」M画廊(栃木)
- 「和田賢一遺作展Ⅱ」M画廊(栃木)
- 2016年 「和田賢一遺作展Ⅲ」M画廊(栃木)
- 2018年 「和田賢一遺作展Ⅳ」M画廊(栃木)



「SUMMER-TIME」アクリル・綿布・木枠 227.3×182cm 1994



「ATOM 2000 B.P.W」
アクリル、パネル
53×33.3cm (M10号) 2000



「CRYSTAL X」アクリル、綿布、木枠
65.2×53cm 1997



「ATOM 2002-28 G.P.W」アクリル、パネル
90.6×65.1cm 2002



「柱字魂 DO YU HUN」アクリル、キャンバス、木枠
193.2×130.5cm 1998

グループ展 (2000年以降)

- 2000年 「Za COLLECTION 展」Za ギャラリー(神奈川)
- 「資料でたどる戦争期の美術」ギャラリー川船(東京)
- 「中村一美・和田賢一 新作展」川越画廊(埼玉)
- 2001年 「第7回国際コンテンポラリーアートフェスティバル(NICAF2001TOKYO)」
Za Gallery
- ART PRINT JAPAN のブース 東京国際フォーラム展示ホール(東京)
- 「平成13年度宇都宮文星短期大学教員展」文星芸術大学ギャラリー(栃木)
- 「01 collection 展」文房堂ギャラリー(東京)
- 2002年 「New Works 2002 小品展」川越画廊(埼玉)
- 「和田賢一・伊藤眞理二人展」川越画廊(埼玉)
- 「FS 展」ギャラリーフツツ(東京)
- 2003-04年 「あるサラリーマン・コレクションの軌跡～戦後日本美術の場所」周南市
美術博物館、三鷹市美術ギャラリー、福井県立美術館
- 2004年 「New Works 2004」川越画廊(埼玉)
- 「絵をかく人々の集い展2」ギャラリーかれん(神奈川)
- 「平成16年度文化庁買上優秀美術作品披露展」日本芸術院会館(東京)
- 『常設展 小特集「絵画の挑戦」』川越市立美術館(埼玉)
- 2006年 「絵を描く人々の集い展3」ギャラリーかれん(神奈川)
- 「第25回損保ジャパン美術財団 選抜奨励展(推薦作家26名枠内) 損保
ジャパン東郷青児美術館(東京)
- 「桜・桜展」庭園ギャラリー櫻守(埼玉)
- 『常設展 小特集「抽象画の世界へ」』川越市立美術館(埼玉)
- 「ART TODAY 2006」セゾン現代美術館(長野)
- 2007年 「絵をかく人々のチャリティ展 2006」ギャラリーかれん(神奈川)
- 「New works 2007 小品展」川越画廊(埼玉)
- 「2007 ヘイリ・アジアプロジェクト 2 日本現代芸術祭」ヘイリ芸術村
(バジュー市、韓国)
- 『劉旭光による「複合康二ドキュメンタリー」の為に集められた小品展』
GALLERY SPACE 23°C(東京)
- 2008年 『常設展第一期「現代美術に注目!」』川越市立美術館(埼玉)
- 2010年 「和田賢一・伊藤眞理 小品展」アートギャラリーこはく(埼玉)
- 「元木みゆき + 和田賢一展」深川 Labo(東京)
- 2011年 「和田賢一・朴宗夏二人展」マキイマサルファインアーツ(東京)
- 「日本 × 韓国 交流展」Joong-A Gallery(ソウル、韓国)
- 2012年 「挽歌4人展」ガレリアフィナルテ(愛知)
- 2013年 新収蔵作品展 足利市立美術館(栃木)
- 「魂の場所」セゾン現代美術館(長野)
- 現代アートとJAZZのコラボレーションライブ Vol.2(東京)
- 2014年 新収蔵作品展 金谷美術館(千葉)
- 現代アートとJAZZのコラボレーションライブ Vol.5(東京)
- 2015年 「Re-Collections!」T-Art Gallery(東京)
- 「アートリンク in 足利展 2015」足利商工会議所 ギャラリーカッサ(栃木)
- 2016年 金谷美術館収蔵作品展(千葉)
- 「アートリンク in 足利展 2016」足利商工会議所 ギャラリーカッサ(栃木)



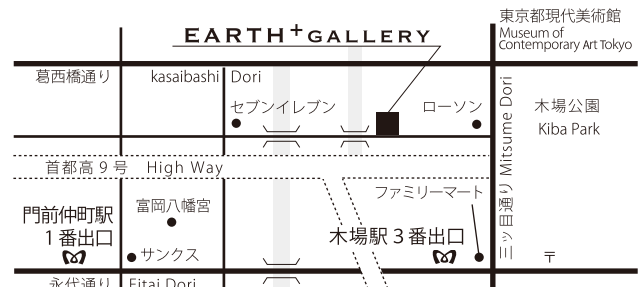
「ATOM 03-9 B.P.」アクリル・綿布・木枠 195.0×300cm 2003

作品収蔵

- 1994年 広島山陽女学園に「Deep Green Blues」
- 2005年 川越市立美術館に「ATOM 04.54 R.B.P」
- 「平成16年度文化庁買上優秀美術作品」として文化庁「ATOM 04.36 B.G.P」
- 2006年 セゾン現代美術館に「ATOMIC ANGEL 06-16 GRR 蓮池」
- 2010年 うらわ美術館に「ATOM 04-29 P.G.」「ATOMIC ANGEL 07-24 P.G.E.Y.」
- 2011年 三鷹市美術ギャラリーに「untitled '83」「untitled '90」「ATOM 03.5 O.Y.P.B.」
- 足利市立美術館に「untitled '84」「ATOM 04-59 B.G.O.Y.」「ATOMIC ANGEL 07-G.R.S.」
- 2013年 金谷美術館に「Heavenly Blue」

展示に関するお問い合わせ

〒135-0042 東京都江東区木場 3-18-17 1F
 Tel/Fax 03-3630-1655 Mail info@earth-plus.com
 HP <http://earth-plus.com>
 担当：山中



東西線 木場駅 3 番出口から徒歩 6分
 東西線 門前仲町駅 1 番出口から徒歩 10分

EARTH+GALLERY